

4日目 9月23日

会 場： 松江市営野球場

第2試合			～3回戦～（7回コールド）																	
T E A M			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
松江農林			0	0	0	0	0	0	0									0	4	0
立正大淞南			1	0	4	0	0	0	2x									7	15	0
(投手―捕手)																				
・（松）			仲西英 ― 都田																	
・（淞）			日野→西田 ― 真田																	
(長 打)			(二塁打)							(三塁打)							(本塁打)			
・（松）																				
・（淞）			坂川																	
(審判)〔球審〕宮野			〔一塁〕藤原周							〔二塁〕吉岡							〔三塁〕瀧隆			
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨		
(松)	28	4	0	0	0	0	7	4	2	0		1		0	0	0	0	0		
(淞)	34	15	7	1	0	0	0	2	3	2		1		0	0	0	0	0		

「立正大淞南、2試合連続コールド勝ちで連覇へ前進！」

昨年秋を制した立正大淞南が、強さを見せつけ2試合連続のコールド勝ちで準々決勝に駒を進めた。

1回裏、立正大淞南は2死から3番坂川が真ん中の直球を捉え、右中間へ2塁打を放つ。続く4番真田がライトへの適時打で先制点を奪う。3回裏には、連打で1死満塁とし、4番真田がライトへ犠飛を放ち1点を追加する。さらに盗塁と四球で2死満塁となり、6番新地、7番酒井の連続適時打が飛び出し、この回4点を加える。その後、走者を出しても得点の入らない展開が続くが7回裏に、連打と犠打で1死2・3塁とし、6番新地がこの試合2本目の適時打を放ち、2番手として途中出場していた西田がライトへの適時打を放ち7点差をつけコールド勝ちした。

松江農林は立正大淞南の先発日野に対し、四死球や犠打を絡め好機を作るものの、要所は締められ得点ができなかった。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]